

校内推薦基準（案）

1. 目的

- 校内で行われる進路指導・大会出場・検定受験・表彰などに際し、推薦を公正かつ透明に行う。
 - 生徒一人ひとりの努力と成果を尊重し、適切な機会提供を通じて成長を支援する。
 - 教職員間で共通理解をもち、保護者・生徒に説明責任を果たせる体制を整える。
-

2. 推薦の基本方針

1. 学業・人物ともに信頼される生徒を推薦する。
 2. 平等性・透明性を重視し、恣意的な推薦を避ける。
 3. 「努力の過程」を評価対象とし、成績のみならず日常の態度も考慮する。
 4. 学校全体の信用を損なわないことを最優先とする。
-

3. 推薦対象

- 高等学校・専門学校等への進学推薦
 - 英検・数検・漢検など各種検定試験への学校推薦
 - 各種大会・コンクール・表彰制度への参加推薦
-

4. 推薦条件

- 学習面
 - 定期考査・提出物・授業態度において、基準に達していること
 - 過去1年間の成績に著しい不振がないこと
 - 生活面
 - 欠席・遅刻・早退が不自然に多くないこと
 - 校則を遵守し、生活態度が安定していること
 - 教職員や友人から信頼を得ていること
 - 人物面
 - 責任感・協調性があり、学校の代表としてふさわしい言動ができること
 - 将来の進路や挑戦に対して明確な意欲を示していること
-

5. 推薦除外条件

- 欠席・遅刻が極端に多い、または無断欠席がある場合
 - 校則違反（いじめ・喫煙・万引き・SNSトラブルなど）が確認されている場合
 - 提出物の未提出が繰り返され、学習意欲に著しく欠ける場合
 - 教員の指導に従わず、学級・学校生活に悪影響を及ぼす態度が見られる場合
-

6. 手続きの流れ

1. 担任による推薦案の提出

- 学習状況・生活態度・出欠状況を整理して職員会議へ提出

2. 学年会議での審議

- 担任以外の学年教員も含めて適否を検討

3. 職員会議での承認

- 全教職員で合議し、最終的に承認

4. 保護者・生徒への通知

- 推薦理由を説明し、同意を得る
-

7. その他

- 推薦を辞退する場合は、保護者・生徒の連名で文書を提出する。
- 推薦後に不適切な行為が判明した場合は、推薦を取り消すことがある。
- 本基準は年度末に見直し、必要に応じて改訂する。